

(6) 再生可能エネルギーを
活用した産業の振興

再生可能エネルギーの導入は、地球環境の保全はもとより、産業の振興や住民福祉の向上において、有効な手立てであると考えております。

このため、平成28年度に策定した「八雲町再生可能エネルギー導入促進ビジョン」に基づき、取り組みを進めているところでございます。

なかでも、特に町民の意向が高かった酪農畜産系のバイオマス設備の導入については、既に町内でも導入が進んでおりますが、町全体としての導入の手法などについての検討を継続してまいります。

また、国の外郭団体が地熱調査のために上の湯地区において掘削し、現在は町が所有している井戸について、掘削から20年以上が経過しており、経年劣化の恐れもあることから、現況を調査し、その価値を判断してまいります。

3. 誰もがいきいき暮らせる健康・医療
・福祉の推進

(1) 健康づくりの促進

健康づくりの主体である町民一人ひとりが、自分の健康状態に関心を持ち、具体的な取り組みができるよう、地域や関係機関と連携し、町民の健康意識の高揚と健康づくりに取り組むための知識の普及啓発に努めてまいります。

町民が疾病の早期発見・早期治療、生活習慣病の予防と改善を行うことができるよう、各種健(検)診受診率の向上を図ってまいります。特に、子宮頸がんおよび乳がん検診については、一定年齢の対象者への無料クーポン券の配布や集団検診のほかに、個別検診も引き続き実施してまいります。

また、胃がんおよび大腸がん検診については、町民の利便性を考慮し、特定健診に併せて実施する体制を確保することで、受診率の向上を図ります。

乳幼児の予防接種については、引き続き安全な予防接種体制を確保してまいります。

(2) 医療体制の充実

八雲総合病院では、内科常勤医師の不足から非常に厳しい経営環境となっております。何よりも医師の確保を最優先に対応してまいります。また、不足する医療従事者についても、より広く働きかけをして充足を図ってまいります。

平成31年度は、医療コンサルティングを導入して、診療体制、看護体制、経営管理体制等を細かに分析し、その抜本的な改革に着手する考えであります。また、夏までに病棟の冷房設備を整備し、入院環境の改善を図ってまいります。

今後とも地域センター病院として、町民の皆さまをはじめ、地域の皆さまに安心して受診していただける病院づくりを、院長と共に私が先頭に立ち、職員一丸となって進めてまいります。

熊石国保病院は、建設から48年経過し老朽化が著しいため、建て替えに向けて新病院の基本構想・基本計画策定業務を実施してまいります。住民が住み慣れた地域でいつでも安心して受診できる「かかりつけ病院」として、良質な医療サービスの提供に努め、

救急医療についても診療体制の維持を図り、病院経営の健全化に努めてまいります。



(3) 地域福祉の促進

人口の減少とともに、少子高齢化が進行するなか、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域住民がお互いを思いやり、支えあっていくことがますます重要となつてまいります。

そのため、地域の絆を深めるための声掛けや見守り活動等が推進されるよう、各町内会や民生委員協議会等関係団体と連携を図り、支援してまいります。

また、引き続き、社会福祉協議会と連携しながら、ポラン

ティア団体への活動支援や地域ポランティアの育成、人材確保への支援に努めてまいります。

(4) 高齢者福祉の推進

八雲町の高齢化率は33%を超え、今後も高齢化は進んでいくと想定されます。「八雲町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して健やかに暮らし続けられる地域社会を目指し、八雲町らしい地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでまいります。

多様な主体による生活支援サービスの充実のため、生活支援コーディネーターによるニーズ調査を実施し、住民主体の活動につなげていくための取り組みを進めてまいります。

さらに、高齢化の進行に伴う認知症高齢者の一層の増加に対応するため、認知症初期集中支援推進事業や認知症カフェ、認知症サポーター養成などの認知症施策を推進するとともに、成年後見制度の利用促進に向けて各関係機関との連携を図り、地域連携ネットワークの協議を進めてまいります。